

那珂市小中一貫教育

「未来を創る君たちへ」

学習の手引き

【中期：5・6・7年生用】



学園 那珂市立

小学校・

中学校

名前

那珂市で目指す9年間の「学びのデザイン」

◆学びのプラン

校 種	小 学 校			
期 間	前 期 (4年間)			
学 年	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生
学 び の コ ン セ プ ト	 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習習慣を身に付け、 「できること」を広げる時期 </div>			
学 ぼう と す る 力	○生活や学習の中から「なぜ」「どうして」などの疑問を見付け、考えることの楽しさ、分かることの喜びを味わう。		○仲間と楽しさ	
学 ぶ 力	○目的をもって調べたり、体験を基に考えたりする。 ○話すことや書いたことが、相手に伝わるように筋道を立てて表現する。		知識・技能を ○目的に結び付 ○事柄の順	
学 ん だ 力	○身に付けた知識・技能を授業で使う。 ○「できた」「分かった」ことを基に、疑問を見付ける。		基礎 ○身に付 ○学習で見付け	

◆授業の心得

授 業 前	○授業と休み時間のけじめをつけ、着席する。		次の授業に向 ○時刻を	
授 業 中	○与えられた課題に最後まで粘り強く取り組む。		目標や目的をもって授業に取り ○自ら課	
授 業 後	○「できた」「分かった」「見付けた」などを振り返る。		何を学んだのか、学んだことが ○分かったなどを	

◆家庭学習

学 年	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生
学 習 時 間 の 目 安	20 分 程 度		40 分 程 度	
学 習 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●宿題を最後までやり終える。 ●「読み」「書き」「計算」の基礎的な学習を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ●進んで宿題を行う。 ●自主学習で授業の予習や復習を行う。 	

			中 学 校	
中 期 (3年間)			後 期 (2年間)	
5 年 生	6 年 生	7 年 生	8 年 生	9 年 生
 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 追究ある楽しさを 経験ある時期 </div>			 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 学びを夢の実現に つなげる時期 </div>	

学習に取り組む意欲

学び合う楽しさ、課題をもって追究するを味わう。

- 他者の考えのよさを取り入れながら、学びを広げたり、深めたりする楽しさを味わう。

活用し、自ら考え、判断し、表現する力

合った方法で調べたり、学んだ知識や経験をけて考えたりする。
序に沿って構成を考えて的確に表現する。

- 目的に応じて情報を吟味したり、論理的、抽象的に考えたりする。
- 立場や考えの違いを踏まえて、構成を工夫して表現する。

的・基本的な知識・技能の習得

けた知識・技能を課題解決に使う。
得た知識や経験を基に、新たな課題をる。

- 身に付けた知識・技能を目的に応じて使いこなす。
- 学習を振り返って考え、新たな学びにつなげる。

けた心構えと学習の準備が大切

守り、授業の準備をする。

- 2・3分前に着席し、本時の学習内容につながる学習を進める。

組み、自ら考え、考えたことを表現することが大切

題を見付け、進んで課題に取り組む

- 自ら課題を見付け、よりよい解決方法を追究して取り組む。

らどんなことが分かったのが振り返ることが大切

たことから、他にどんなことが言えるのか振り返る。

- 理解したこと、身に付けたことを生活や学習に関連付けて振り返る。

5 年 生	6 年 生	7 年 生	8 年 生	9 年 生
60 分程度		90 分程度	120 分程度	120 分 + α
<ul style="list-style-type: none"> ●計画を立てて、学習を行う。 ●自主学習(予習・復習・自分の課題など)を行う。 ●各種テストに向けて計画的に行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ●自主的に予習・復習を行う。 ●定期テストに向けて、計画的、継続的、系統的に取り組む。 ●進路に向けて計画的に取り組む。 		

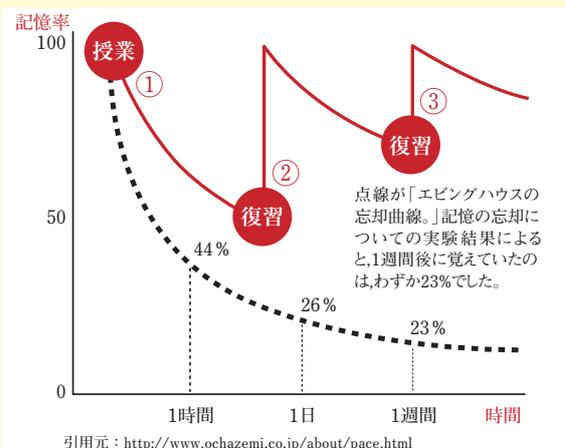
目次

那珂市で目指す9年間の「学びのデザイン」	1, 2	月のめあて 振り返り
学習の手引きの使い方	4	
保護者の皆様へ「家庭で学ぶ環境づくり」	5	
9年間を見通した家庭学習の確立を	6	
国語の学習のポイント	7	4月
社会の学習のポイント	8	5月
算数・数学の学習のポイント	9	6月
理科の学習のポイント	10	7月
外国語活動・英語の学習のポイント	11	8月
音楽の学習のポイント	12	9月
図画工作・美術の学習のポイント	13	10月
体育・保健体育の学習のポイント	14	11月
家庭、技術・家庭の学習のポイント	15	12月
中学校ってどんなところ？「那珂市の先輩からのメッセージ」	16	1月
自主学習ノートの参考例	17	2月
自主学習ノートの参考例	18	3月
最も心に残った学校行事はこれ！	19	
1年を振り返って「漢字一文字で表すと」	20	

家庭学習の必要性～その日のうちに復習を～

エビングハウス（ドイツの心理学者）の忘却曲線（右図の点線）というものがあります。この曲線は、「人はどのくらいのスピードで物事を忘れるのか」を表したものです。この曲線は、覚えた1時間後には、約半分は忘れ、1週間もすれば8割近く忘れており、忘れないで残る記憶は2割程度で、この記憶が残るというものです。

この曲線は物事を記憶した直後が1番忘れやすいということも示しています。ですから、記憶が新しいうちに何らかの復習をすることで、この忘れていく率（忘却率）は随分低くなることも証明されています（右図の朱線）。つまり、同じ復習をするのなら、学校で習ったその日のうちに復習をするのが有効であるということを示しています。学校での学びと家庭での学びをつなげていくのが、学力を定着させるためには不可欠であるということです。



学習の手引きの使い方

保護者の皆様へ

この学習の手引きは、学校や家庭で「学習する時に大切にしてほしいポイント（下記の①と②）」と月ごとの「めあて・振り返り（下記の③）」の2段構成になっています。

①, ②は、各教科の学習を進める上で、日常的・継続的に活用するようお子様に、適宜、声をかけてください。

③は、月初めと月末を中心に、月ごとのお子様の家庭学習のめあてに対するがんばりを確かめるために、活用してください。

本学習の手引きについての趣旨をご理解いただき、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

児童生徒のみなさんへ

授業や家庭学習をするときの各教科ごとの3つのポイントです。

各教科の学習をするときは、この3つのポイントを意識して学習をすすめましょう。

月のめあてを決めるときや振り返りをするときなど、その都度確認しましょう。

学校の宿題が最優先です。宿題が終わったら、自主学習として挑戦するポイントが示してあります。

また、学習したことを自分の生活の中で活用していくポイントも示してあります。

【5・6年生】 【7年生】

国語の学習の3つのポイント

その1 読む 内容や要旨を考えながら読みましょう。	その1 読む 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読みましょう。
その2 話す・書く 目的や意図に応じ、文章全体の構成を考えて、話したり書いたりしましょう。	その2 話す・書く 目的や意図に応じ、構成を工夫して話したり、書いたりしましょう。
その3 言葉 国語辞典や漢字辞典を使って、意味や言葉の働き、語句の使い方を調べましょう。	その3 言葉 国語辞典や漢和辞典を使って、意味や言葉の働き、語句の使い方を調べましょう。

家庭学習の3つのポイント

その1 読む 気持ちを込めて音読をしたり、内容や要旨をとらえながら読書をしたりしましょう。	その1 読む 一冊の本を最後まで読む、大事な箇所を読む、多くの本に目を通すなど、本や文章を目的に応じて読み進めましょう。
その2 書く 心に残ったことや経験したことを詩や短作文に書いたり、新聞記事に対する考えを書いたりしましょう。	その2 書く 新聞の社説やコラムを読み、感じたことや自分が考えたことを家庭学習ノートに簡潔にまとめましょう。
その3 言葉 漢字の練習や語句調べをして語いを広げましょう。	その3 言葉 漢字の練習や語句調べをして語いを広げたり、古文や漢文などの古典の世界に触れたりしましょう。

4月のめあて・振り返り

	4月の学習のめあて	4月を振り返って	保護者印	先生印
5年				
6年				
7年				

③ 月初めに家庭学習で「今月、力を入れたいこと」「今月、がんばりたいこと」などのめあてを決めましょう。

また、月末に自分の家庭学習を振り返り、お家の人や先生に家庭学習の成果を伝えましょう。

保護者の皆様へ

那珂市では、平成27年度から小中一貫教育をスタートさせました。本市では、義務教育9年間を見通し、「学力向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「自分らしい生き方や自立を目指す」という4つの分野に分けて系統的な指導をして、小中一貫教育を推進しています。

この「学習の手引き」は、子どもたちの「義務教育9年間の学習をつないでいくこと」と「学校と家庭の毎日の学習をつないでいくこと」で、自分の力で目標をもって学習をすすめることができるようにとの願いで作成しました。

保護者の皆様にもこの冊子の趣旨をご理解いただき、子どもたちの学習がさらに充実するよう、この冊子をご活用いただければ幸いです。

家庭で学ぶ環境づくり

～家庭と学校が協力し合って、子どもの「学ぶ力」を育てましょう～

その
1

生活にリズムを！

「早寝 早起き 朝ごはん」が生活の基本となります。基本的な生活習慣づくりに努めることが大切です。

その
2

学ぶ雰囲気大切に！

静かに集中できる学習の場所が必要です。身の回りを整理整頓させ、学習時間を決め、取り組ませましょう。

その
3

読書に親しむ！

家庭での読書や読み聞かせを続けましょう。



その
4

先生と連絡を！

分からないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。

その
5

一緒に家事を！

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。



その
6

進んで体力づくりを！

体力向上により、集中力や忍耐力が高まります。何事もあきらめず最後までやり遂げる心を育てましょう。

その
7

情報との正しい付き合い方を！

携帯電話やインターネットは役立つ道具ですが、危険も併せもっています。持たせる場合は、ルールを決めて使わせるようにしましょう。

9年間を見通した家庭学習の確立を

校種	期間	保護者の構え	家庭学習の主なポイント	保護者のかかわりとして
小学校	前期	1・2年 ↓ 手をかける	◎ 宿題を最後までやり終える。 習慣付けの1年生 ○ひらがな, カタカナ ○漢字 80 字の読み書き ○たし算, ひき算 定着しはじめの2年生 ○漢字 160 字の読み書き ○かけ算九九	○ 一緒に学習し, ほめて子どものやる気を育てましょう。 ・家でも家庭学習の確かめ(丸付け)をしましょう。 ・学校からの連絡やお便りに目を通しましょう。
		3・4年 ↓ 声をかける	◎ 進んで宿題を行う。 ◎ 自主学習で授業の予習や復習をする。 自分ではじめる3年生 ○漢字 200 字の読み書き ○ローマ字の読み書き ○国語辞典の活用 ○かけ算, わり算の筆算 成長の節目, 4年生 ○漢字 200 字の読み書き ○漢字辞典の活用 ○わり算の筆算, 小数のたし算・ひき算 ○47 都道府県を覚える	○ 認めたりほめたりすることで, 進んで学ぶ態度や知的好奇心を育てましょう。 ・宿題に取り組むように声をかけ, 分からないところは一緒に考えるようにしましょう。 ・自主学習は, 辞典や地図, 新聞などを身近において活用させるようにしましょう。
	中期	5・6年 ↓ 目をかける	◎ 計画を立てて学習に取り組む。 ◎ 自主学習で授業の予習や復習をする。 個性が育つ5年生 ○漢字 185 字の読み書き ○分数のたし算・ひき算, 小数の計算 進学に希望をもつ6年生 ○漢字 181 字の読み書き ○分数のかけ算・わり算, 速さの求め方 ○新聞やインターネットの活用	○ 計画的に学習に取り組めるよう見守り, 子どもの学ぶ意欲を伸ばしましょう。 ・学校からの宿題, さらに授業の予習や復習をするなど, 計画的に学習を進められるようにしましょう。
		7年 ↓ 心をかける	◎ 各種テストに向けて計画的に取り組む。 自分で決める7年生 ○常用漢字 250 字～300 字程度読め, 900 字程度書ける。 ○正の数・負の数の計算, 文字式の計算 ○英単語の練習 ○英和・和英辞典の活用	○ 目的をもって学習を進められるよう見守り, 子どもの学ぶ力を伸ばしましょう。 ・自主的な学習習慣の定着を促し, 子どもの考えを尊重しましょう。
後期	8・9年 ↓ 心をかける	◎ 進路に向けて計画的に学習に取り組む。 計画を立て, 継続していく8年生 ○7年生までに学習した常用漢字に加えて, 300 字～350 字程度の漢字を用いた文章が読める。 ○文字が2種類以上の文字式の計算 人生の節目, 9年生 ○夢の実現に向けての計画的な学習	○ 自主的な学習習慣を確立させ, 自己実現につながる学びの大切さに気付かせましょう。 ・子どもの将来について, ともに考え, 家庭が安らぎの場となるように努めましょう。	

【5・6年生】

【7年生】

国語の学習の 3つの ポイント

その1 **読む**
 内容や要旨を考えながら読みましよう。

その2 **話す・書く**
 目的や意図に応じ、文章全体の構成を考えて、話したり書いたりましよう。

その3 **言葉**
 国語辞典や漢字辞典を使って、意味や言葉の働き、語句の使い方を調べましよう。

その1 **読む**
 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読みましよう。

その2 **話す・書く**
 目的や意図に応じ、構成を工夫して話したり、書いたりましよう。

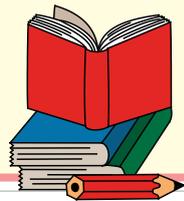
その3 **言葉**
 国語辞典や漢和辞典を使って、意味や言葉の働き、語句の使い方を調べましよう。

家庭学習の 3つの ポイント

その1 **読む**
 気持ちを込めて音読をしたり、内容や要旨をとらえながら読書をしたりましよう。

その2 **書く**
 心に残ったことや経験したことを詩や短作文に書いたり、新聞記事に対する考えを書いたりましよう。

その3 **言葉**
 漢字の練習や語句調べをして語いを広げましよう。



その1 **読む**
 一冊の本を最後まで読む、大事な箇所かしよを読む、多くの本に目を通すなど、本や文章を目的に応じて読み進めましよう。

その2 **書く**
 新聞の社説やコラムを読み、感じたことや自分が考えたことを家庭学習ノートに簡潔にまとめましよう。

その3 **言葉**
 漢字の練習や語句調べをして語いを広げたり、古文や漢文などの古典の世界に触れたりましよう。

項目 学年	4月の学習のめあて	4月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

社会の学習の 3つの ポイント

その1 **見つける**
日本のようすや人々のくらしに、どんな『?』があるかを考えましょう。

その2 **調べる・話し合う**
くわしい人にインタビューしたり、本やインターネットで調べたりして、分かったことを話し合しましょう。

その3 **まとめる**
新聞やパンフレットなどにまとめ、日本や世界に目を向けましょう。

その1 **疑問を大切にする**
「なぜ?」「どうして?」といった疑問をもち、そのことについて本や資料で調べましょう。

その2 **視点を変えて考える**
地図や地球儀、統計、年表などの資料を基に、他の事象と比較したり、いろいろな立場に立って考えたりしましょう。

その3 **「つながり」を考える**
各分野で学習したことが、どのようにつながっているのか、また、現代との関連を考えましょう。



家庭学習の 3つの ポイント

その1 **復習**
興味をもった語句や疑問に思ったことを、教科書、地図帳、資料集などを使って調べましょう。

その2 **予習**
教科書の重要な用語にアンダーラインを引いておきましょう。

その3 **プラス1**
新聞を読んだり、ニュースを見たりしましょう。

その1 **復習**
教科書を繰り返し読んで、分野別ノートをつくり重要な用語をまとめながら理解しましょう。

その2 **予習**
次に学習する教科書のページを読んでおき、分からない語句や疑問点をチェックしておきましょう。

その3 **プラス1**
新聞やテレビで話題になっていることについて、自分でも考えてみましょう。

項目 学年	5月の学習のめあて	5月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

【5・6年生】

【7年生】

算数・数学の学習の 3つの ポイント

その
1

図や数直線を使って考える

これまで学習してきた算数を基にして、図や数直線をかいて考えましょう。

その
2

比較して考える

「似ているところや違うところはどこかな」と比較して考えましょう。

その
3

生活の中で使ってみる

学校や家庭での生活の中で、学習した算数の内容を使ってみましょう。

その
1

学習したことを基に考える

これまで学習してきた算数・数学を基にして、数や図形の性質を見いだしたり、さらに先を考えたりしましょう。

その
2

筋道を立てて説明する

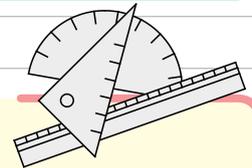
根拠を明らかにして、筋道を立てて考えたり、説明したりしましょう。

その
3

身の回りで使ってみる

日常生活や社会の出来事を数学と結び付けて考えてみましょう。

家庭学習の 3つの ポイント



その
1

復習

授業中に解いた問題をその日のうちにもう一度解き直しましょう。

その
2

予習

次の授業で学習する内容を教科書で確認しましょう。

その
3

プラス1

生活の中での時刻や時間について考えたり、定規やコンパス、分度器を使って、いろいろな図形やグラフをかいたりしましょう。

その
1

復習

授業中に解いた問題をその日のうちにもう一度解き直しましょう。

その
2

予習

次の授業で学習する内容を教科書で確認しましょう。

その
3

プラス1

間違えた問題をノートにまとめ、自分の問題集を作成しましょう。

項目 学年	6月の学習のめあて	6月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

理科の学習の 3つの ポイント

その1 **予想や仮説を立てる**
 観察や実験をする前に、経験したことや学習したことを基に自分なりの予想や仮説を立てましょう。

その2 **条件に着目して観察・実験をする**
 変える条件・変えない条件を整えて、観察や実験をしましょう。

その3 **理科の用語を使ってまとめる**
 観察や実験の結果から分かったことを、できるだけ理科の用語を用いて自分の言葉でまとめましょう。

その1 **問題を見つける**
 自然の事物・現象の中から問題を見つけ、観察や実験をしましょう。

その2 **目的意識をもって観察・実験をする**
 何を知るための観察なのか、何を調べるための実験なのかなど、目的意識をもって観察や実験をしましょう。

その3 **理科の用語を使ってまとめる**
 観察や実験の結果を分析して、さらに考察を加え、分かったことを理科の用語を用いて自分の言葉でまとめましょう。

家庭学習の 3つの ポイント



その1 **復習**
 観察や実験をするときに使った器具の名前や正しい使い方、観察や実験の方法を教科書やノートで確認しましょう。

その2 **予習**
 教科書の重要な理科用語にアンダーラインを引いておきましょう。

その3 **プラス1**
 理科や科学に関係のあるテレビ番組や新聞記事などに触れ、考えたことをノートに記録しておきましょう。

その1 **復習**
 教科書を繰り返し読んで、分野別ノートをつくり重要な用語をまとめながら覚えましょう。

その2 **予習**
 次に学習する教科書のページを読んでおき、分からない語句や疑問点をチェックしておきましょう。

その3 **プラス1**
 新聞やテレビで話題になっている理科や科学に関することについて、自分でも考えてみましょう。

項目 学年	7月の学習のめあて	7月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

【5・6年生】

【7年生】

外国語活動・英語の学習の 3つの ポイント

その
1

英語を話す

耳で聞き取った英語の言葉を話しましょう。

その
2

英語でコミュニケーションをとる

英語を用いて、友達や先生と積極的にコミュニケーションをとりましょう。

その
3

英語になれる

ALT や担任の先生の話す英語をまねて、くり返し言いましょう。

その
1

英語を話す

失敗を恐れず、学習した英語やジェスチャーを用いて、自分の考えなどを話しましょう。

その
2

英語を書く

学習した基本文を参考にしながら、自分の考えなどを英語で書きましょう。

その
3

英語を磨く

英語の先生やALT の発音やリズムを集中して聴き、正しい発音やアクセントを練習しましょう。

家庭学習の 3つの ポイント



その
1

復習

お家の人に学校で学習した英語を使ってみましょう。

その
2

予習

アルファベットを書いたり、興味のある英語の言葉きょうみをまねて書いたりしましょう。

その
3

プラス1

身の回りかんばんにある看板などに書かれている英語を読んでみましょう。

その
1

復習

授業で学習した単語や基本文をその日のうちに書いて覚え、ワークの問題に挑戦しましょう。

その
2

予習

次の授業で学習する教科書の英文を自分の力で読み、分からない単語や基本文をチェックしておきましょう。

その
3

プラス1

英和辞典や和英辞典を使って、単語の意味や語句の使い方を調べたり、何度も書いたりしましょう。

さらに

実用英語技能検定ちようげんに挑戦し、資格を取りましょう。【目安】7年生：4～5級

項目 学年	8月の学習のめあて	8月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

音楽の学習の 3つの ポイント

その1 **歌 唱**
音の重なりや全体のハーモニーを味わって、声を合わせて歌いましょう。

その1 **歌 唱**
各パートの役割や全体のハーモニーとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら声と気持ちを合わせて歌いましょう。

その2 **器 楽**
曲に合った楽器の演奏の仕方を工夫しましょう。

その2 **器 楽**
楽器の特徴を理解し、その楽器や曲にふさわしい音色や表現を工夫しましょう。

その3 **鑑 賞**
音楽の特徴や音色を感じ取りながら、聴きましょう。



その3 **鑑 賞**
音楽を形づくっている要素と曲想との関係を理解して聴き、自分の言葉で説明しましょう。

家庭学習の 3つの ポイント

その1 いろいろな音楽を聴いたり、歌ったりしましょう。

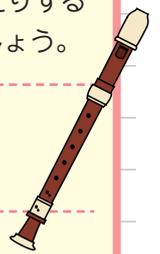
その1 美しいと感じたり、感動したりする音や音楽にたくさん触れましょう。

その2 ソプラノリコーダーの練習をしましょう。

その2 アルトリコーダーの練習をしましょう。

その3 音楽記号や用語を覚えましょう。

その3 **定期テスト対策**
教科書や学校のワーク、プリントを使って、音楽記号や用語を理解しましょう。



項目 学年	9月の学習のめあて	9月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

【5・6年生】

【7年生】

図画工作・美術の学習の 3つの ポイント

その1 **表現**
 感じたことや、材料の特徴などを基に、「描いてみたい」「作ってみたい」作品のイメージをもつようにしましょう。

その2 **表現**
 パスや水彩絵の具、針金などの材料、糸のこぎりなどの道具の特徴を生かして、作品をつくりましょう。

その3 **鑑賞**
 自分たちの作品、日本や外国の作品を鑑賞して、感じたことを言葉で表現しましょう。

その1 **表現**
 見たことや感じ取ったこと、考えたこと、心の世界などを基に、「形をどうするか」「色彩をどうするか」などテーマを考え、作品のイメージをもつようにしましょう。

その2 **表現**
 制作の順序を考えたり、意図に応じた材料や用具を生かしたりしながら作品をつくりましょう。

その3 **鑑賞**
 自然や生活の中の造形や、美術作品などを鑑賞するときは、その作品のよさや美しさという視点をもって鑑賞しましょう。

家庭学習の 3つの ポイント

その1 積極的に夏休みの作品展等の図工作品募集に挑戦しましょう。

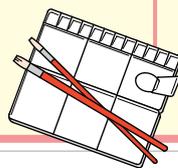
その2 地域の美術館・博物館等の施設に行き、本物の美術作品を鑑賞しましょう。

その3 学校で学習したことを使ったり、工夫したりして、家庭でも絵を描いたり工作したりしましょう。

その1 積極的に夏休みの作品展等の美術作品募集に挑戦しましょう。

その2 地域の美術館・博物館等の施設に行き、本物の美術作品を鑑賞しましょう。

その3 **定期テスト対策**
 教科書や資料集を見て、美術作品に対する自分の見方や身近な生活や環境に関するデザインの発想・構想を深めましょう。



項目 学年	10月の学習のめあて	10月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

体育・保健体育の学習の 3つの ポイント

その
1

態 度

友達と協力したり、安全を考えたりしながら、全力で運動に取り組みましょう。

その
2

知識・技能

それぞれの運動（スポーツ）の動きや技のこつを考えながら、動きや技を身に付けましょう。

その
3

保 健

危険を予測したり、病気の起こり方を学んだりしながら、健康で安全な生活を心がけましょう。

その
1

態 度

協力したり、自分の役割を果たしたりしながら、自己のベストを尽くして運動しましょう。

その
2

知識・技能

それぞれの運動がもっている特性や魅力に応じて、その運動についての知識や技能を身に付けましょう。

その
3

保 健

生活における心と体の健康や安全について学び、自分の心と体の健康を管理しましょう。

家庭学習の 3つの ポイント

その
1

規則正しい生活を心がけましょう。



その
2

興味のあるスポーツに挑戦しましょう。

その
3

学校の体育的な行事を目標に、自分で計画を立てて練習をしましょう。

その
1

「適度な運動」「十分な睡眠」「バランスの取れた食事」を常に意識して生活しましょう。

その
2

休日など勉強や部活の合間にジョギングなどをして体力をつけましょう。

その
3

定期テスト対策

運動の練習内容を考えたり、ルールや審判方法などを「中学体育実技」で調べたりしましょう。

項目 学年	11月の学習のめあて	11月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

【5・6年生】

【7年生】

家庭、技術・家庭の学習の 3つの ポイント

その1 **人のかかわりを考える**
 家族や友達と協力し、安全に作業することの大切さと、実践することの喜びを味わいましょう。

その2 **生活を工夫する**
 生活に役立つものを、計画を立てて作りましょう。

その3 **家庭生活とのつながりを考える**
 自分と家庭生活とのかかわりについて進んで考えましょう。



その1 **生活場面での技術の活用を考える**
 生活と技術とのかかわりを理解し、家族の一員として、実践していきましょう。

その2 **生活を工夫する**
 制作の手順を確かめたり、構想を練ったりして、生活に役立つものを作りましょう。

その3 **家庭生活とのつながりを考える**
 家庭生活と自分とのかかわりについて進んで考えたり、基本的な知識や技術を習得したりしましょう。

家庭学習の 3つの ポイント

その1 家庭の仕事の中で、自分でできることや学習したことを実践してみましょう。

その2 いばらきものづくり教育フェア（小学校家庭科の作品コンクール）、あなたのためのおべんとうコンクールなどに積極的に挑戦しましょう。

その3 学校で学習したことが家庭生活のどこに見られるのか、探してみましよう。

その1 授業で学習したことを、家族や地域の一人として、自分のできることを実践してみましょう。

その2 いばらきものづくり教育フェア（中学校技術・家庭科の作品コンクール）、あなたのためのおべんとうコンクールなどに積極的に挑戦しましょう。

その3 **定期テスト対策**
 教科書の図や写真と用語の意味を結び付けながら、学習したことの見直しをしましょう。

項目 学年	12月の学習のめあて	12月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

那珂市の先輩からのメッセージ

毎日制服を着て学校に通います。小学生のときよりも「自分で考えて行動する」場面が増えました。いろいろと悩むこともありますが、自分で解決できたときの達成感を通して、以前の自分よりも成長したことを実感しています。

中学校では、部活動が始まります。毎日の朝練習や放課後練習、休日には練習試合や大会など、日々充実した活動をしています。練習がきついなあと感じることもありますが、できなかったことができるようになったときの気持ちは格別です。先輩には、練習以外にも悩み事などの相談にのってもらうなど優しく接してもらっています。

中学校では、教科ごとに授業の先生が変わります。いろいろな先生に教えてもらえるのでとても楽しいです。授業の時間が小学校のときより5分長くなり、教室の移動も結構あったので最初は戸惑いました。また、授業のスピードも速いので、その時間で理解できないときは、先生に時間をとって教えていただき、家で復習したりして理解するようにしています。

中学校では、中間テストや期末テストといった定期テストがあります。自分の成績に非常に関わってきます。小学校のときと違って、テスト範囲が広く、教科の数も多いので、テスト当日に向けて、しっかりと計画を立てて学習することが大切になってきます。

中学校に入ってから毎日自分から進んで勉強するようになりました。部活動との両立は大変なときもありましたが、1か月くらい続けていると、勉強することの習慣が身に付き、自分でも驚いています。

中学校にもたくさんの学校行事があります。中でも、体育祭や文化祭といった行事は特に思い出に残っています。

体育祭では、大縄跳びやリレーの練習など、少ない時間を使って、少しでも上手になるようがんばりました。クラスのパフォーマンスの発表に向けて、夏休みから準備を行い、体育祭当日、発表が終わった後、クラスの一体感がさらに深まりました。

文化祭では、合唱コンクールがあります。どのクラスも金賞を目指してがんばりました。途中、クラスの中でもめたりして、うまくいかないこともありましたが、それを乗り越えた当日の発表はすばらしい歌声を周りの人たちに届けることができたと思います。合唱以外にも、劇やコント、ダンスなど、とても楽しい発表もあり、充実した1日を過ごしました。

項目 学年	1月の学習のめあて	1月を振り返って	保護者 印	先生 印
5年				
6年				
7年				

最も心に残った学校行事はこれ！

最も心に残った学校行事はこれ！

5年生で心に残った学校行事名

6年生で心に残った学校行事名

7年生で心に残った学校行事名

1年を振り返って「漢字一文字で表すと」

1年を振り返って「漢字一文字で表すと」

自分にとって、
この1年を表す漢字一文字はこれ！

理 由

5年生

6年生

7年生

なかつこ宣言

(平成二十一年五月十八日制定)

私たち小学生は、社会の一員としてよりよい未来をつくるため、豊かな大地と緑を大切にし、社会のルールを守り、那珂市の花「ひまわり」のように、明るく元気に育つことをめざし、宣言します。

- 一 元氣よくあいさつします。
- 二 だれにもやさしくします。
- 三 きまりを守って生活します。
- 四 がまん強くがんばります。
- 五 夢に向かって努力します。
- 六 ふるさとを大切にします。

那珂市各小学校代表児童
「なかつこ宣言策定委員会」

書名 学習の手引き

発行 那珂市教育委員会
発行日 平成28年4月1日
印刷 株式会社 東洋印刷